

育成モノづくり人材

Vol. 29

三重県立伊勢工業高校

三重県立伊勢工業高校は創立120年を迎える南伊勢地域唯一の工業高校。造船技術の



大久保校長

学舎として発足し、卒業生は1万4000人を超える。現在の設置学科は機械科、電気科、建築科。「ルールを守り、マナーを身につけ、社会で生きていくための力を育む。モ

【DATA】▷校長=大久保克彦氏▷所在地=三重県伊勢市▷学科構成=機械科、電気科、建築科▷総定員数=600人▷主要設備=N/C旋盤・フライス盤、マシニングセンター、CAD・CAMなど▷主な進路=東芝四日市工場、JFEエンジニアリング津製作所、シンフォニアテクノロジー伊勢製作所、ジャパンマリユナイテッド津事業所、トヨタ自動車など

を受賞するなど好成績を上げ、三重県高等学校ロボコン競技大会などにも積極的に参加している。「地域とのパイプを太くしたい」(同)

ロボやEV「機電融合」強み

ノづくりは人づくりがキーワード」(大久保克彦校長)。生徒は普通科目と工業科目をバランス良く学ぶ。約8割の生徒が三重県、愛知県など中部地

の生徒が進学する。過去の野球部が甲子園出場経験を持つなどクラブ活動が活発で、陸上やレスリングなどの強豪校でもある。特徴的な取り組みは

機電融合技術といわれる「ロボットや電気自動車(EV)などに力を入れている」(同)ことだ。2015年の高校生ロボット相撲大会では経済産業大臣賞を受賞した。

また、5月末の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に際しては、開催までの日数を毎年卒業生が入社しているシンフォニアテクノロジーの武藤昌三会長(編集委員・鈴木真央)を講師に招き、2日間



創立120周年を迎える南伊勢地域の伝統校

行ったこともある。また、5月末の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に際しては、開催までの日数を毎年卒業生が入社しているシンフォニアテクノロジーの武藤昌三会長(編集委員・鈴木真央)を講師に招き、2日間

企業との連携にも取り組んでおり、6月には、地元の大企業で毎年卒業生が入社しているシンフォニアテクノロジーの武藤昌三会長(編集委員・鈴木真央)を講師に招き、2日間

「基礎学力の習得とともに工業関係の専門知識や技術、技能、各種職業資格を習得し、部活動などを通じて強い体力と精神力、忍耐力を養うことが将来にとって大切」との教育方針を掲げる大久保校長。17年度には「伝統を背負い、誇りと愛着を持ち、大事にできる」をコンセプトに制服を刷新。次の120年に向けて歩み出す。(金曜日に掲載)